

北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）開業を見据え、歴史・文化・食など地域の資源を活かし、個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実、観光誘致、ワーケーション等による長期滞在や移住定住の促進など、交流人口や関係人口等の創出・拡大を推進する。

これまでの主な取組・成果

●北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大

■青函交流の推進〔青森県・振興局〕

・「青函圏フォーラム」の開催

開催日：令和7年2月17日

場所：ウェディングプラザアラスカ

概要：青函圏域の交流・連携の促進を目的として、青函圏における交流人財の育成をテーマとした講演やパネルディスカッションを行うフォーラムを開催。



●個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実

■観光人材の育成〔振興局〕

・「檜山地域歴史文化資源活用検討会」の開催

開催日：令和6年11月15日

場所：檜山振興局

概要：歴史文化資源を活用した観光の理論と実践について、講師を招いた講演やパネルディスカッションを行う検討会を開催。21名が参加。



●道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進

■移住・定住及びワーケーション等の推進〔市町・振興局〕

・「北海道移住・交流フェア」への出展

開催日：令和6年10月19日（土）

場所：東京都立産貿易センター

概要：北斗市、松前町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、上ノ国町、奥尻町、渡島総合振興局が各個別ブースにおいて来場者への個別相談対応。



■地域おこし協力隊の定着に向けた取組〔振興局〕

・「道南地域おこし協力隊研修会」の開催

開催日：令和6年9月30日

場所：厚沢部町山村開発センター

概要：地域おこし協力隊、自治体職員等を対象に、任期終了後を見据えたキャリアプラン設計等の講義及びワークショップを開催。



主な評価指標（KPI）

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
渡島地域への観光入込客数	1,160万人（R5）	1,271万人（R6）	1,408万人（R11）	90.3%
檜山地域への観光入込客数	135万人（R5）	149万人（R6）	155万人（R11）	96.1%

R7年度の主な取組

■北海道新幹線開業10周年記念式典・記念イベントの開催〔北海道新幹線建設促進道南地方期成会〕

■観光人材育成のための観光関連業者を対象とした講座の実施〔振興局〕

■地域資源を活用した企業向けワーケーションの合宿・研修用コンテンツのPR〔振興局〕

道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域特性を最大限に発揮し、洋上風力などの再生可能エネルギーの活用や森林資源の循環利用、さらには建築物の省エネ化等に向け、関係者が一体となって取り組み、世界、日本、そして本道の脱炭素化、GXの実現に貢献する。

これまでの主な取組・成果

●温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

■ゼロカーボンの推進 [函館市、函館市地球温暖化対策地域推進協議会、振興局 他]

・「はこだてエコライフキャンペーン」の実施

開催日：令和7年3月1日

場所：函館蔦屋書店

概要：脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進するため、ものづくりやエコドライブシュミレーターなどの体験を通じてエコな取組を紹介するイベントを開催。



■地域住民等への理解促進 [振興局]

・「まちづくり×脱炭素ワークショップ」の開催

開催日：令和7年1月25日

場所：コミュニティプラザえさし

概要：地域が一丸となりゼロカーボンの取組を推進できるよう地域住民向けにカードゲーム「脱炭素まちづくりカレッシュ」を使用したワークショップを開催。



●地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進

■洋上風力発電導入に向けた取組への支援 [町、国、振興局]

・渡島エリア

令和5年5月に松前町及び八雲町が再エネ海域利用法における洋上風力の有望区域に指定されたことを受け、情報提供や各種調整を実施。



・檜山エリア

洋上風力発電の先進地域を訪問し、各自自治体及び事業者から取組等についての情報収集や、関係者との意見交換を実施。

●吸収源対策としての森林や藻場の適正管理と自然環境の保全

■木育の推進 [振興局、ボランティア団体等]

・「森への誘い講座」の開催

期間：令和6年6月26日～11月20日

場所：道南四季の森公園 他

概要：一般住民を対象に、地域住民が森林に触れ合う楽しさを伝える人材を養成するため、木育活動の一環として実施。11名受講。



評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
地方公共団体実行計画策定市町村数(渡島地域)	5市町 (R5)	8市町 (R6)	11市町 (R11)	72.7%
地方公共団体実行計画策定市町村数(檜山地域)	6町 (R5)	6町 (R6)	7町 (R11)	85.7%

R7年度の主な取組

■地域課題と脱炭素をかけあわせた小中学生等向け体験型イベントの開催 [振興局]

■管内企業の将来的な洋上風力発電関連産業への参入に向けたネットワークの立ち上げ [振興局、市町、民間企業]

■教育・保育機関の継続的な「森林づくり」の契機となるよう、植樹・育樹（体験）と環境教育（知識習得）の支援 [振興局]

地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

製品のブランド化や適正な資源管理などによる付加価値の向上や販路拡大などの取組を進めるとともに、移住・定住施策と連動しながら新規就業者の確保を図るなど、担い手不足への対応を推進する。

これまでの主な取組・成果

●農林水産業の生産力向上

■増養殖事業の推進 [檜山管内水産振興対策協議会、振興局]

・ニシンの資源造成及び整備の検討

概要：ニシンの資源を一定程度造成するため、種苗放流などの継続的な取組を推進するとともに、ニシン資源造成後の本格的な漁獲開始に向けて、地元における操業体制の整備などの検討に関係者と実施。



●農林水産業の付加価値向上と販路拡大

■規格外品の付加価値向上 [振興局]

・生産者と企業等のマッチング

開催日：令和6年5月10日
場所：檜山農業改良普及センター
概要：規格外品や市場ニーズに応じた特色ある生産物の利用促進や付加価値向上を図るため、生産者と食品加工メーカー等のマッチングを実施。



●農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進

■農福連携の推進 [振興局]

・「お試しノウフク」の実施

開催日：令和6年11月1日
場所：北斗市生産者圃場
概要：長ねぎ出荷調製作業の施設外就労の実現に向け、事業所職員向けの勉強会を開催し、それをふまえた指導を利用者へ行うお試しノウフクを実施。



■道産木材の認知度向上を図る取組 [振興局、市町 他]

・みんなで広げる木づかいプロジェクト！の実施

開催日：令和7年2月28日
場所：渡島総合振興局
概要：建築物における道産木材の利用促進を図るため、建築・製材業などの関係者、市町・振興局職員等によりワークショップを開催。



主な評価指標（KPI）

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
農業産出額（渡島地域）	434億円（R4）	465億円（R5）	454億円（R11）	102.4%
新規就業者数（渡島林業）	7人（R3）	7人（R5）	8人（R11）	87.5%
新規就業者数（檜山漁業）	3人（R5）	2人（R6）	4人（R11）	50.0%

R7年度の主な取組

- 研究機関や教育機関と連携した未利用魚種の利用可能性の調査 [振興局等]
- ナラ枯れ被害を受けやすい大径化したナラ等の未然利用の産業化に向けた取組の実施 [振興局]
- 学生の農業バイトアプリ利用による調査・利用推進 [振興局]

暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域住民をはじめ自治体や関係機関、事業者等の連携のもと、人口動態なども踏まえた地域全体の医療体制や交通体系の最適化に向けた取組を進めるとともに、ハード・ソフト両面から地域防災の充実強化を図る。

これまでの主な取組・成果

●公共交通の維持・確保

■地域交通の担い手確保 [函館地区バス協会、道南地域公共交通活性化協議会、振興局]

・バス運転手合同就職相談会の開催

開催日：令和6年6月30日、10月27日、
令和7年3月23日

場所：渡島総合振興局

概要：地域住民や観光客にとって必要不可欠な移動手段を担う運転手の確保を目的とした個別相談会を実施。57名が参加、14名採用。



●安心で質の高い医療・福祉サービスの強化

■地域医療の確保 [地域医療連携推進法人]

・「地域医療体験」の実施

場所：道立江差病院

概要：実習を行う医学生等に、地域の文化や生活環境を体験することで、地域医療や南檜山への関心を高め、理解を深めることを目的として、檜山管内町において「地域体験研修」を実施。



●防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

■災害応急対策に係る訓練の実施 [振興局]

・災害対策渡島・檜山地方本部指揮室設置・運営訓練

開催日：令和6年4月22日(渡島)5月14日(檜山)

場所：各(総合)振興局

概要：大規模災害時における迅速な初動対応及び防災関係機関との連携を深めるため、災害に関する情報収集や各機関との連絡調整を行う訓練を実施。



■防災啓発イベントの開催 [振興局、市町 他]

・「防災学ぶランドinおしま」の開催

開催日：令和6年9月8日

場所：イオン上磯店

概要：防災に関する理解促進や災害への備えに対する住民の自発的な取組を推進するため、体験や展示等を行うイベントを開催。



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
渡島地域の自主防災組織の活動カバー率	59.8 % (R5)	60.9% (R6) (全国平均値:85.4%)	全国平均値以上 (R11)	71.3%
檜山地域の自主防災組織の活動カバー率	62.5% (R5)	62.4% (R6) (全国平均値:85.4%)	全国平均値以上 (R11)	73.1%

R7年度の主な取組

■国内外の観光客に対する地域公共交通PRの実施 [振興局、市町]

■渡島・八雲・檜山の地域医療構想関係者による地域における情報共有 [振興局]

■市町村における防災訓練実施の支援等、地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上 [振興局等]

地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

「食」や「観光」、「再生可能エネルギー」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

●地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進

■事業者間の連携の推進 [振興局]

・「食×酒×観光スパイラルアップセミナー」の開催

開催日：令和7年1月29日

場所：サンリフレ函館

概要：「食×観光」の相乗効果により、宿泊事業者等と食関連事業者の連携を図り、道南の食やワイン、お酒の魅力を活かす付加価値向上に向けたセミナーを開催。32名参加。



■管内のハイグレード食品のPR [振興局]

・「道南ブランド産品PRキャンペーン」の実施

期間：令和7年1月31日～令和7年3月10日

概要：「北のハイグレード食品」に選定された管内の商品を道内外に広くPRし、一層の知名度向上を図るため、動画を作成し、動画視聴者を対象とした懸賞キャンペーンを実施。応募総数1,146名、動画の総視聴回数3640回となった。



●産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着

■地元企業への雇用の創出 [振興局、教育局、函館公共職業安定所、市町 他]

・「地元のおしごと紹介フェア」の開催

開催日：令和6年10月15日、16日

場所：函館アリーナ

概要：地元企業の魅力や仕事のやりがいを発信するため、求職者、高校生、大学生及び保護者等を対象とした渡島管内企業の説明会を開催。参加企業は15日34社、16日26社。143名参加。



■企業の働き方改革の推進 [振興局]

・「カスタマーハラスメント対策セミナー」の実施

開催日：令和7年2月7日

場所：檜山振興局

概要：令和6年11月に北海道カスタマーハラスメント防止条例が制定されるなど、社会問題とされているカスタマーハラスメントについて情報や対策を解説するセミナーを開催。



評価指標 (KPI)

	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
食の個別相談会等での商談成約件数	532件 (R2-R5)	154件 (R6)	800件 (R6-R11)	19.3%

R7年度の主な取組

■渡島の食関連産業事業者等向けセミナーの開催や「道南ワインアカデミー」による人材育成 [振興局]

■企業誘致のための、管内市町の産業集積・ビジネス環境・住みやすさ等の魅力の情報収集及びPR [振興局、市町]

■Uターン求職者の地元就職支援、地域産業を支える人材の確保・定着事業の実施 [振興局]

縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■縄文文化に関する普及活動の実施〔千歳市、恵庭市〕

・千歳・恵庭の遺跡を歩こう～キウスVSカリンバ編

日時：令和6年5月26日
場所：縄文文化の普及を図るため、ウォーキングをしながらキウス川周辺の遺跡群及び恵庭市旧カリンバ川流域の遺跡群について、市の専門職員がクイズ等を交えながら解説を実施。
30名が参加。



●縄文遺跡群をはじめとする地域資源を活用した誘客促進

■イベントを通じた誘客促進

〔津軽海峡フェリー、函館市教育委員会、振興局 他〕

・「DOKI! DOKI! JOMON EXPO」の開催

開催日：令和6年11月10日
場所：津軽海峡フェリー 函館フェリーターミナル
概要：カッターをはじめとする縄文のキャラクターを演じた声優によるトークショーを通して縄文について学ぶことができるイベントを開催。



■縄文文化の魅力や価値の理解促進〔振興局〕

・スタンプラリーの実施

日時：令和6年7月1日～11月30日
概要：縄文文化の魅力や価値の理解促進を図るため、縄文関連展示施設4カ所を巡り先着でオリジナルステッカーの配付や、抽選で縄文関連グッズ等が当たる「いぶり縄文スタンプラリー」を実施。



■縄文世界遺産登録3周年記念イベントの開催

〔関係市町教育委員会、振興局 他〕

・「おしまの縄文に触れる日」の実施

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録から3周年を迎える令和6年7月27日を「おしまの縄文に触れる日」として、函館市縄文文化交流センターの入館料無料、鷲ノ木遺跡見学会、1日乗車券「縄文カンパス」の発売等を実施。



評価指標（KPI）

縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った市町数（渡島地域）

基準値（基準年）

2市町（R5）

実績値（実績年）

2市町（R6）

目標値（目標年）

11市町（R11）

進捗率

18.2%

R7年度の主な取組

■公共施設等でのパネル展等の実施、縄文文化の普及啓発のためのイベントの開催〔振興局等〕

■管内の遺跡や遺物等を紹介するカードの作成、イベント会場に縄文文化体験ブースの出展〔振興局〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	1,160万人 (R5)	1,271万人 (R6)					1,408万人 (R11)	90.3%
	観光入込客数（檜山地域）	135万人 (R5)	149万人 (R6)					155万人 (R11)	96.1%
	移住相談件数（渡島地域）	731件 (R5)	753件 (R6)					1,120件 (R11)	67.2%
	移住相談件数（檜山地域）	175件 (R5)	集計中					217件 (R11)	—
	北海道型ワーケーション参加市町村数（檜山地域）	5町 (R6)	集計中					7町 (R11)	—
	地域おこし協力隊員数（渡島地域）	33人 (R6)	33人 (R7)					55人 (R11)	60.0%
	地域おこし協力隊員数（檜山地域）	13人 (R6)	集計中					18人 (R11)	—
道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	地方公共団体実行計画策定市町村数（渡島地域）	5市町 (R5)	8市町 (R6)					11市町 (R11)	72.7%
	地方公共団体実行計画策定市町村数（檜山地域）	6町 (R5)	6町 (R6)					7町 (R11)	85.7%
	新エネルギー導入量（設備容量）（渡島地域）	27.7万Kw (R4)	集計中					48.0万Kw (R11)	—

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト	新エネルギー導入量（設備容量） （檜山地域）	19.1万Kw (R4)	集計中					26.5万Kw (R11)	—
	植林面積（渡島地域）	348ha (R4)	372ha (R5)					399ha (R11)	93.2%
	植林面積（檜山地域）	135ha (R4)	171ha (R5)					158ha (R11)	108.2%
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農業産出額（渡島地域）	434億円 (R4)	465億円 (R5)					454億円 (R11)	102.4%
	農業産出額（檜山地域）	134億円 (R4)	141億円 (R5)					141億円 (R11)	100.0%
	道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	13,440m³ (R5)	集計中					24,200m³ (R11)	—
	道南スギの年間製材出荷量（檜山地域）	6,959m³ (R5)	集計中					9,000m³ (R11)	—
	新規就業者数（渡島農業）	8人 (R4)	11人 (R5)					11人 (R11)	100.0%
	新規就業者数（渡島林業）	7人 (R3)	7人 (R5)					8人 (R11)	87.5%
	新規就業者数（渡島漁業）	14人 (R5)	26人 (R6)					21人 (R11)	123.8%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	新規就業者数（檜山農業）	8人 (R4)	8人 (R5)					9人 (R11)	88.9%
	新規就業者数（檜山林業）	9人 (R1-R5平均)	集計中					10人 (R7-R11平均)	—
	新規就業者数（檜山漁業）	3人 (R5)	2人 (R6)					4人 (R11)	50.0%
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	広域交通（路線バス）の年間輸送人員	1,848千人 (R4)	集計中					1,981千人 (R11)	—
	航路輸送（江差－奥尻間）の旅客数（檜山地域）	45,866人 (R5)	46,122人 (R6)					52,223人 (R11)	88.3%
	航空輸送（函館－奥尻間）の利用者数（檜山地域）	8,695人 (R4)	集計中					11,367人 (R11)	—
	医師少数区域数	2圏域 (R6)	集計中					0圏域 (R11)	—
	自主防災組織の活動カバー率（渡島地域）	59.8% (R5)	60.9% (R6) (全国平均:85.4%)					全国平均以上 (R11)	71.3%
	自主防災組織の活動カバー率（檜山地域）	62.5% (R5)	62.4% (R6) (全国平均:85.4%)					全国平均以上 (R11)	73.1%
地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	食の個別相談会等での商談成約件数	532件 (R2-R5)	154件 (R6)					800件 (R6-R11)	19.3%

評価指標（KPI）一覧

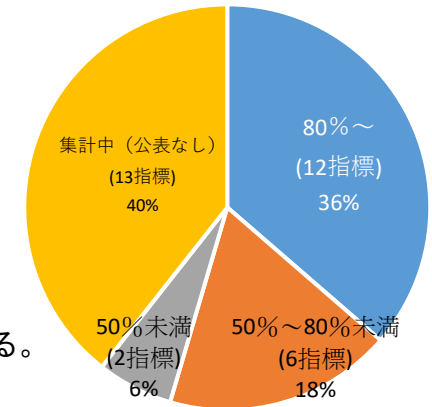
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 (目標年)	進捗率
縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った市町数（渡島地域）	2市町 (R5)	2市町 (R6)					11市町 (R11)	18.2%
	観光入込客数（渡島地域）【再掲】	1,160万人 (R5)	1,271万人 (R6)					1,408万人 (R11)	90.3%
	観光入込客数（檜山地域）【再掲】	135万人 (R5)	149万人 (R6)					155万人 (R11)	96.1%
	観光入込客数（胆振地域）	1,642万人 (R5)	集計中					1,833万人 (R11)	—
	観光入込客数（石狩地域）	2,861万人 (R5)	集計中					3,100万人 (R11)	—

評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向

- ・ 33の評価指標のうち、12の指標で80%を超える進捗があった。（集計中：13指標）
- ・ 観光入込客数は、コロナ禍の一時的な落ち込みからの回復を経て、渡島管内は過去最高を記録し、檜山地域も過去10年で最多となった。
- ・ 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画は、渡島管内の3町が新たに策定した。
- ・ 農林水産業の新規就業者数については、ほとんどの指標で、基準年と比較して同等以上の就業者数を確保した。
- ・ 自主防災組織の活動カバー率は、基準値と比較して、ほぼ横ばいで、全国平均を下回っている。
- ・ 食の個別相談会等での商談成約件数は、20%弱の進捗となり、目標値に対して順調に推移している。
- ・ 縄文文化の魅力情報発信に向けた取組を行った渡島管内の市町数は、基準年と同様、2市町に留まっている。
- ・ 令和7年度の取組については、引き続き、市町村をはじめとした関係機関との連携を図りながら、各プロジェクトの目標達成に向けた取組を推進する。

令和7年度KPI進捗率



R 7 年度における渡島総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連プロジェクト ^(※)
「おしまの縄文」ファンメイキング推進事業	令和3年7月に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産（垣ノ島遺跡・大船遺跡）や関連資産（鷲ノ木遺跡）をはじめ、渡島管内の縄文関連施設への来訪者（リピーター層）増加に向けた官民連携強化による縄文文化の各種取組を推進するとともに、地域資源としての縄文コンテンツの磨き上げを図り、縄文ファンの一層の拡大を目指す。	⑥
「南北海道食彩王国」ビルドアップ事業	道南の食の魅力をさらに向上するため、地域内連携を促すとともに、道南の食関連事業者等に対する継続的な支援やそれらを実施する体制整備を実施し、「南北海道食彩王国」のさらなるブランド強化へ向けた取組を加速する。	⑤
渡島の多様性を活かした”持続可能な農業”推進事業	人口減少社会に対応した持続可能な農業を実現するためには、多様な人材との連携による農業労働力の確保や労働環境の改善などに努める必要があることから、次代の渡島地域を支える担い手の育成・確保を図る取組を進める。	③
おしま「食と農業」魅力発信事業	農業・農村の持続的な発展のため、魅力ある農畜産物の情報を発信し、地産地消を推進するとともに、環境と調和のとれた農業に対する消費者理解を促進する。	③
ひろがれ！道南産森林認証材・ストップ！ナラ枯れプロジェクト	利用期を迎えている道南スギ等の地域産の木材の利用を拡大するため、地域の強みであるが認知度の低い森林認証材を需要者となる建築業者等にPRし、建築材等として利用する意欲を高め、需要拡大を図る。また、管内で拡大しているナラ枯れ被害を受けにくい森林づくりを推進するため、高齢・大径化したミズナラ等を未然に利用し、付加価値の高いナラ製品の試作や産業化を図る。この取組により、木材利用が促進され、森林所有者等に利益が還元されることになり、適切な森林管理が図られる。	③
おしまの漁業活性化プロジェクト	近年の海洋環境の変化などの影響により、管内の主要魚種の漁獲量が減少している一方で、単価の安い魚種の漁獲量が増加しており、漁業者の所得向上につながっていない。加えて漁業就業者不足により、漁業経営を安定的に継続していくことが困難になっている現状にあることから、管内水産物の消費拡大や漁業就業者確保の事業を行うことにより、渡島管内の漁業の活性化を図る。	③
おしま移住プロモーション事業	渡島地域の人材定着や移住者の増加に向けて、地域おこし協力隊員をはじめとする移住者への定住支援や市町の地域おこし協力隊員募集支援、移住PRの事業を行う。	①
みなみ北海道周遊ツーリズム促進事業	道南の強みである「食と観光」を活用した高付加価値な旅行商品の造成や地域コミュニティと観光客の両方に利益をもたらす取組の支援など、稼ぐ観光への転換を図り、持続可能な観光地づくりを目指す。	①⑥
環境教育と環境分野における人材育成事業	2050年までの「ゼロカーボン北海道」を実現するためには、次世代を担う若者に対する環境教育や環境分野での人材育成が重要であるため、若者を対象とした環境学習事業を実施する。	②
みなみ北海道GX関連産業振興事業	道南地域の多様で豊富な再生可能エネルギーの導入促進と地産地消を図るため、檜山振興局・管内市町との連携による企業誘致の取組を積極的に推進し、再生可能エネルギーの生産・研究拠点や脱炭素関連企業の立地促進・産業集積により、南北海道におけるGX関連産業の振興を目指す。	⑤

※渡島地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

R 7 年度における檜山振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト ^(※)
檜山地域人材確保総合対策事業	人口減少や少子高齢化の進行などにより人手不足が深刻化する檜山地域において、幅広い分野で担い手を確保・育成するため、地域内の人材の地元産業への就業促進や地域外に流出した人材のＵターン促進、外国人材の活用・定着を図る。	③⑤
ひやま農林業持続的発展推進事業	人口減少に伴う農産物消費量や木材需要が低迷する中、ひやまの農林業を持続的に発展させるためには、農産物の差別化による収益性向上を図るとともに、地域に芽生えてきた地域材利用の動きを継続・拡大していくことが重要であることから、関係機関と連携し、高付加価値化に係る取組及び道南スギをはじめとした地域材の利用拡大の取組を推進する。	③
檜山地域ヒグマ防除対策推進事業	ヒグマが人里へ頻繁に出没するなど人とヒグマの軋轢が高まっているため、出没経路遮断に効果がある電気柵の設置・啓発を行うとともに、人とヒグマを空間的にすみ分ける「ゾーニング」の導入促進やヒグマ出没を想定した実地訓練等により地域対応力の強化を図る。	②
「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト	檜山地域の脱炭素化を進めるため、管内各町の地域プロジェクトを支援するとともに、教育機関と連携した取組や、普及イベント等の開催を通じ、地域全体の気運醸成を図る。	②
洋上風力発電関連産業参入促進支援事業	洋上風力発電事業の檜山沖での導入に向けた動きを契機として、地元企業の洋上風力関連産業への参入可能性を探り、管内における新たな産業や雇用の創出等による檜山地域の活性化を図る。	②
檜山地域関係人口定着促進事業	全道よりも早く人口減少・少子高齢化が進む檜山地域において、関係人口の創出・定着や移住定住の促進に向けた取組を進めるとともに、ふるさと納税の増収を図ることで持続可能な地域社会のモデルを構築する。	①
オール檜山・食の魅力向上事業	檜山管内の食産業の魅力向上を図るため、関係機関等と連携し、地域資源を最大限に活用したプロモーション活動及び販路拡大に向けた支援により、地域経済の活性化を図る。	③
檜山の観光高付加価値化促進事業	檜山への旅の魅力度向上・観光客の増加を図るため、檜山管内の独自性ある歴史文化資源及びアウトドアアクティビティ資源についての新たな価値創出、各観光資源の質の向上に取り組むとともに、SNSを活用した情報発信等を行う。	①

※檜山地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたゼロカーボンプロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト